



株主のみなさまへ

## 第96回事業ご報告

平成23年3月21日 ▶ 平成24年3月20日

株式会社 安川電機

(証券コード：6506)

### 当社グループの当期の業績につきまして、概要をご報告申し上げます。

当期における当社グループを取り巻く経営環境は、第2四半期前半までとそれ以降とで、異なる状況で推移いたしました。

第2四半期前半までは、海外は中国をはじめとしたアジアに牽引され、また、国内は東日本大震災の影響による製品・部品の供給網寸断の復旧が急速に進み、需要が堅調に推移いたしました。

それ以降は、需要面では、中国経済の減速、半導体・液晶関連業界の投資停滞などの影響を大きく受け、また、超円高やレアアース(希土類)の価格高騰などもあり、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループでは、採算性を重視した受注活動や、海外生産拠点を徹底的に活用したコストダウン、受注水準にみあった経費運営等の施策を推進いたしました。

上記のとおり厳しい状況でありましたが、セグメントではロボットの売上高・営業利益が大きく拡大し、地域別では欧米が堅調に推移したこと、また、上記の施策推進の結果、売上高3,071億11百万円(前期比3.5%増)、営業利益148億18百万円(同15.1%増)、経常利益156億26百万円(同16.4%増)、当期純利益84億32百万円(同28.8%増)となりました。

当社グループでは、事業内容を5つのセグメントに分けております。

当期の各セグメント別の業績動向はつぎのとおりです。

### セグメント別の業績

セグメントの名称	売上高(前期比)	営業損益(前期比)
モーションコントロール	1,494億10百万円 (4.5%減)	58億24百万円 (31億55百万円減)
ロボット	1,010億65百万円 (20.5%増)	70億14百万円 (53億40百万円増)
システムエンジニアリング	355億20百万円 (3.4%増)	19億17百万円 (1億43百万円減)
情報	128億26百万円 (9.2%減)	△1億39百万円 (2億58百万円の損失減)
その他	82億89百万円 (2.7%増)	5億26百万円 (16百万円減)

なお、当社個別業績につきましては、売上高1,708億48百万円(前期比7.0%減)、営業利益2億92百万円(同92.8%減)、経常利益46億93百万円(同29.3%減)、当期純利益19億71百万円(同42.7%減)となりました。

期末配当につきましては、安定的かつ継続的な配当とあわせて、当期の業績及び財務状況並びに今後の事業展開等を総合的に勘案し、1株につき5円とし、さきの1株につき5円の間配当とあわせ、年間で1株につき10円とさせていただきます。

今年度(平成24年度)は、米国経済の緩やかな回復や、日本・中国の景気回復などが期待されますが、やや修正されているものの円高基調は続き、原油価格高騰等、不透明な要因もあります。

当社グループとしては、このような不確実性の高い経済環境の中、選択と集中、経費構造の見直しにより、グローバル企業としての高収益体質実現を図るとともに将来の基幹事業の創出という方向性を掲げ、以下の3つの方針にそった施策を実行してまいります。

### ① コア事業の利益率向上

- 受注確保のため、好調な市場、回復する市場に対してスピーディに販売活動を行います。
- 円高への対策として中国の生産拠点の規模拡大、海外調達を加速いたします。
- 経費の一段の効率運営を行います。

### ② 新規事業への資源重点投入

- 新市場の創造と新規事業の創出・拡大に対し、資源を積極的に投入いたします。  
具体的には、自動車用電気駆動システム、太陽光発電システム、大形風力発電システムといった環境エネルギー事業の加速や、サービスロボットについても事業化の探索活動を強化いたします。

### ③ 開発力、生産力、販売力の継続的進化

- コア技術の強化とグローバルで現地ニーズを早期に製品化する対応力を強化いたします。
- ロボットを用いた生産の自動化を図る取り組みを拡大いたします。

これらの活動を通じて、平成24年度を最終年度とする中期経営計画“Challenge 100”に掲げる進化した体質を実現し、グローバル経済の中で持続的に成長し続ける当社グループを構築してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年6月



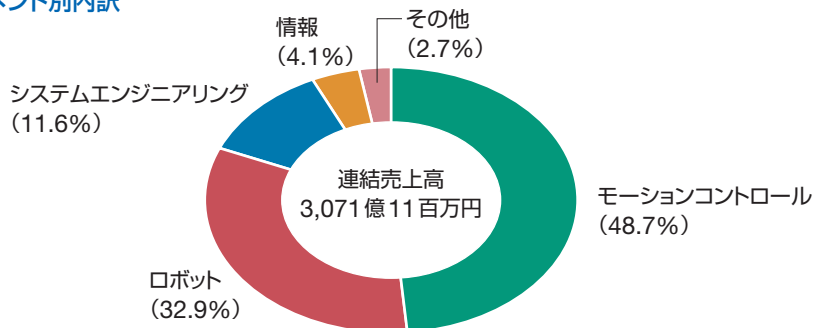
代表取締役社長

津田 弘嗣

## 業績の推移

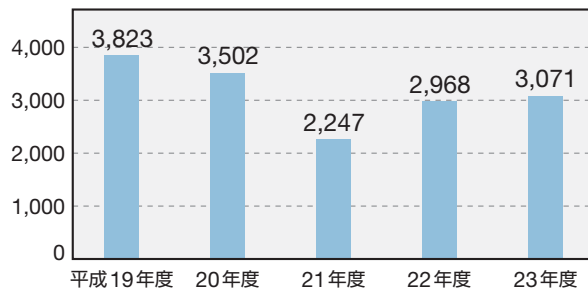
### ● 連結売上高のセグメント別内訳

(平成23年度)



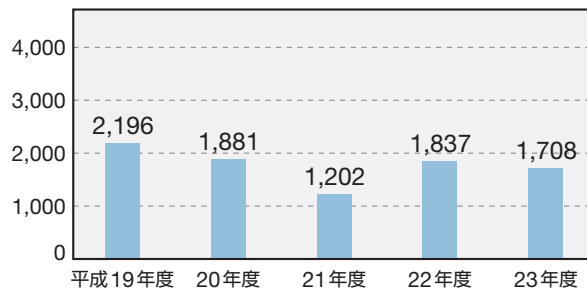
### ● 売上高(連結)

単位: 億円



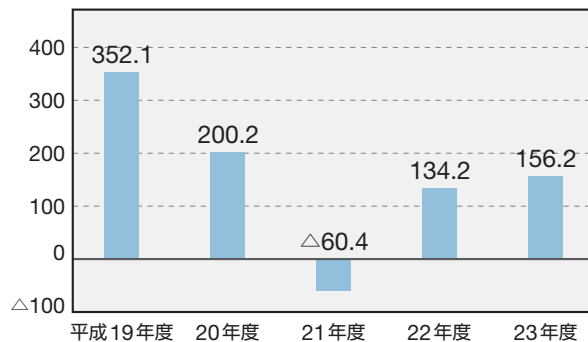
### ● 売上高(個別)

単位: 億円



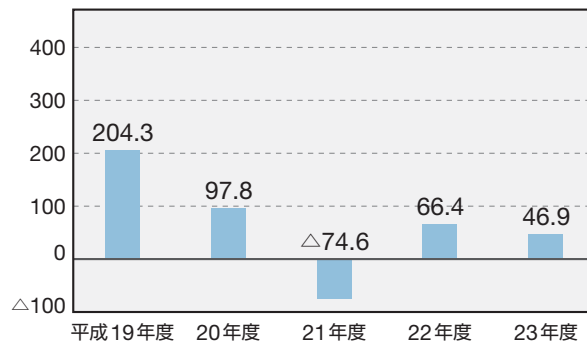
### ● 経常利益(連結)

単位: 億円



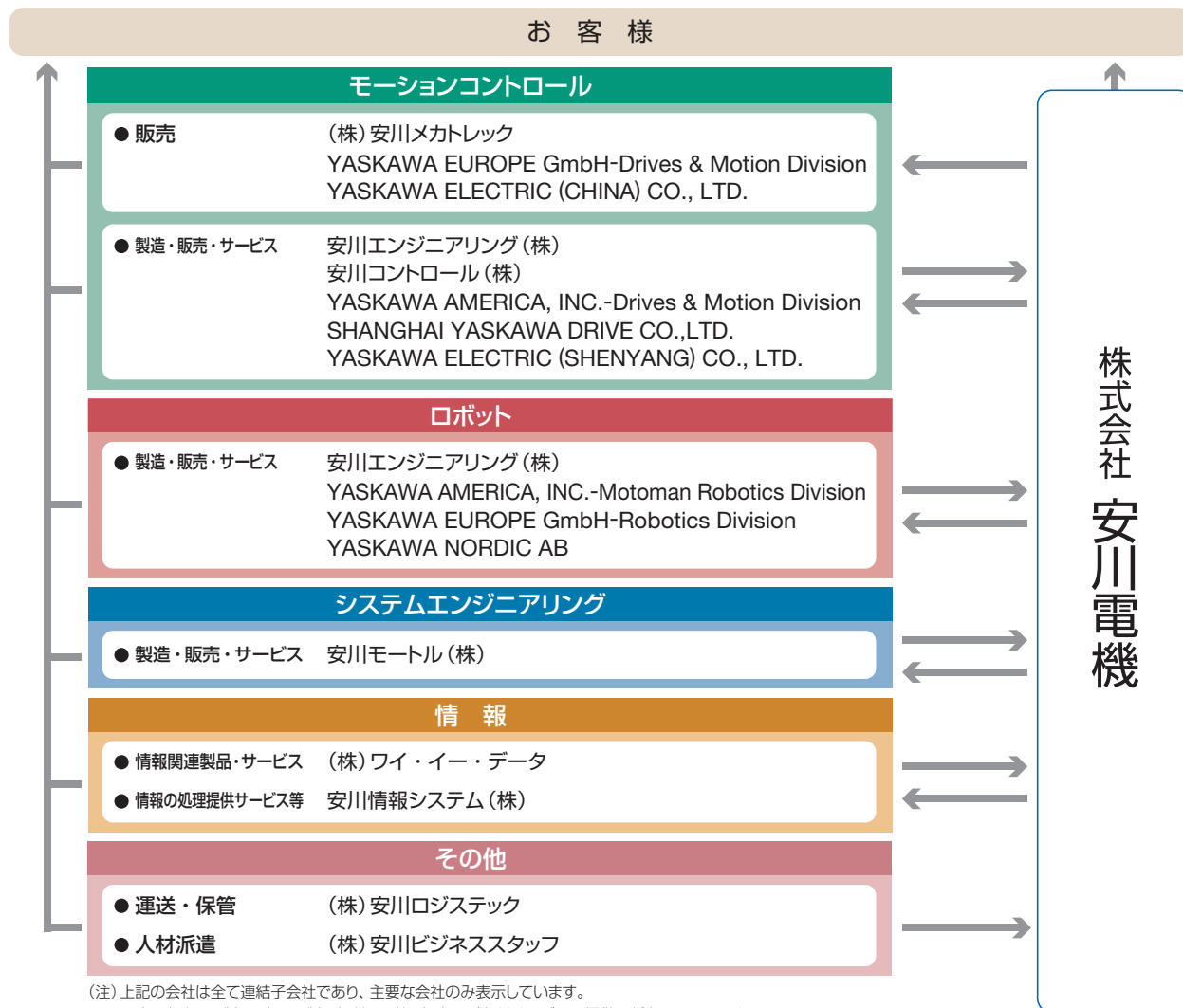
### ● 経常利益(個別)

単位: 億円



## ■ 当社グループの状況

当社グループは、当社を中核として子会社79社及び関連会社19社(平成24年3月20日現在)により構成され、「モーションコントロール」「ロボット」「システムエンジニアリング」「情報」「その他」の各セグメントの様々な分野において、製造、販売、据付、保守、エンジニアリング等の事業展開を行っております。



(注) 上記の会社は全て連結子会社であり、主要な会社のみ表示しています。

図中の矢印は、製品、部品、製品据付、調整、保守及び各種サービスの提供関係を示しています。

株式会社 ワイ・イー・データ及び安川情報システム株式会社の2社は東京証券取引所第二部に上場しています。

## ■ セグメント別の概況

### モーションコントロール

ACサーボモータ・コントローラは、国内外とも、受注は特に第2四半期前半までは好調で、また、新製品の拡販が進むなど、堅調に推移いたしました。それ以降は受注が減速し、低水準となっております。インバータは、中国をはじめとするアジアを中心とした省エネルギー需要を取り込み、第2四半期前半までは堅調でしたが、それ以降は弱含みとなっております。

これらの結果、売上高・営業利益は減少いたしました。

#### 主要製品

- ACサーボモータ・制御装置
- 汎用インバータ
- 工作機械用AC主軸モータ・制御装置
- リニアモータ・制御装置
- 高速モータ
- 小形精密モータ
- 複合モータ
- 高効率モータ・インバータ
- 高周波インバータ
- マトリクスコンバータ
- マシンコントローラ
- ビジョンシステム
- 太陽光発電用  
パワーコンディショナ
- EV用モータドライブシステム
- その他



### ロボット

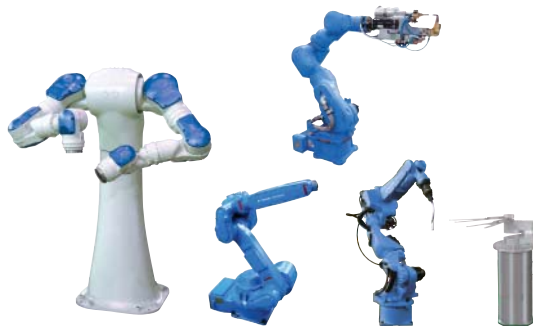
溶接・ハンドリング・塗装ロボット等は、海外を中心とした自動車業界向けの拡販に努め、受注が拡大いたしました。国内でも、一般産業界向け需要獲得に注力いたしました。

あわせて、さらに採算性を重視した活動も実施し、利益拡大に寄与いたしました。

この結果、売上高・営業利益とも大きく拡大し、業績を牽引いたしました。

#### 主要製品

- アーク溶接ロボット
- スポット溶接ロボット
- 塗装ロボット
- ハンドリングロボット
- 半導体・液晶製造装置用  
クリーン・真空搬送ロボット
- ロボット周辺機器
- ロボット応用FAシステム
- サービスロボット
- その他



## システムエンジニアリング

主力の鉄鋼業界向け及び水処理設備向けとも、震災による影響を受けましたが、ほぼ前期並の売上高・営業利益を確保いたしました。

### 主要製品

- 鉄鋼プラント用電機システム
- 上下水道用電気計装システム
- 道路設備電源システム
- 港湾荷役用クレーン制御システム
- 紙・フィルム・繊維製造装置・印刷機械用可変速ドライブシステム
- システム情報制御機器
- 中大容量高圧インバータ
- 中大容量高圧マトリクスコンバータ
- 高圧開閉装置
- コントロールセンタ
- システム用制御盤
- 電力用配電機器
- 永久磁石内蔵形回転機
- 中大形誘導電動機
- 中形発電機及び発電装置
- その他産業用回転機
- 大形風力発電機
- 大形風力発電用コンバータ
- 小形風力・太陽光発電システム
- 省エネルギー関連システム
- その他



## 情報・その他

情報関連投資が、震災の影響でさらに延期されており、前期比で売上高は減少いたしました。損益面では、徹底した原価低減の継続により、営業損失は減少いたしました。

その他セグメントには物流サービス、人材派遣等の事業が含まれております。

### 主要製品

#### 情報

- 情報関連製品・サービス  
(オプトメカトロニクス・情報セキュリティ・情報マルチメディア)
- 情報処理ソフト及びサービス
- OA機器
- その他

#### その他

- 物流サービス
- 人材派遣
- その他



## ■ 新商品のご紹介・トピックス

### マシンの鍵となる3つのシステムを融合

統合マシンコントローラ

## MP3200

マシン制御に不可欠なモーション・ビジョン・ロボットシステムを融合することでマシンシステム全体の最適制御を実現できる次世代の統合マシンコントローラMP3200を製品化したしました。

近年、装置の高速化や、製品の微細化に対応するためにビジョンセンサとコントローラとの連携強化などのニーズが高まっています。

MP3200は用途に応じた最適なシステムを構築し、情報の一括管理によるシステム全体の「見える化」や、メンテナンス性・トレーサビリティの向上に貢献します。



主な用途

- 半導体製造装置
- 液晶製造装置
- LED製造装置
- 電子部品実装装置
- 食品包装機
- 金属加工機

### 捨てていたエネルギーを有効活用

## 安川回生省エネユニットシリーズ

汎用インバータと併設してご利用いただける高効率電源回生コンバータD1000及び電源回生ユニットR1000を開発いたしました。従来製品のマトリクスコンバータVarispeed ACとともに、安川回生省エネユニットシリーズとして、クレーンの巻下げ運動等で発生する回生発電エネルギーを有効利用し、機械設備の節電に貢献します。

主な用途

- 繰り返し負荷や回生電力が大きい昇降用途
- 電源高調波対策が必要とされる病院・学校・オフィスビル等の変速用途
- 制動ブレーキの大きな機械設備、頻繁に制動ブレーキが必要な機械設備

(注) 高効率・電源高調波抑制制御はD1000とVarispeed ACのみ対応しています。



高効率電源回生コンバータ  
D1000

インバータへの取り付けで電源の効率改善・高調波抑制を実現



電源回生ユニット  
R1000

従来の制動抵抗方式から置き換えることで、節電・制動ブレーキ力アップ・装置の小形化を実現



マトリクスコンバータ  
Varispeed AC

モータ回転数を制御するインバータ機能・電源回生機能・効率改善機能・電源高調波抑制機能を1台で実現



## 個人住宅用途向け(屋内用)をラインアップ

太陽光発電用パワーコンディショナ

### Enewell-SOL (4.5kW/5.8kW)

太陽光発電用パワーコンディショナ Enewell-SOL シリーズに、個人住宅用途向けの機種をラインアップし、販売を開始いたしました。当社独自のダイレクト電力変換を採用したパワー変換技術により、96%以上の高変換効率を実現しています。系統停電時の非常電源用として自立運転機能を搭載し、騒音レベルを30dB以下に抑えているので個人住宅でも安心してお使いいただけます。今後も当社のパワー変換技術を生かし、自然エネルギーを効率よく活用する商品の開発を積極的に進めてまいります。

主な用途

- 太陽光発電用(個人住宅向け)

(注) 本商品は個人のお客様への直接販売は行っておりません。



## 多様な電気駆動の用途に対応

モータドライブシステム

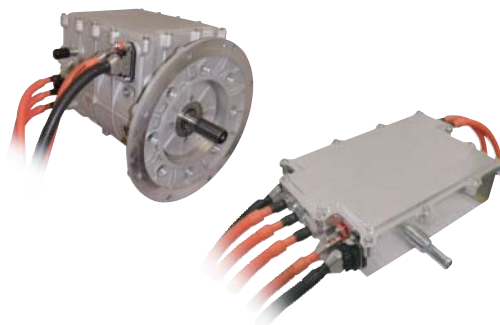
### QMET-II

平成21年6月に製品化したモータドライブシステムQMET(クメット)ドライブをさらに進化させた、QMET-IIを開発いたしました。独自の電子式巻線切替技術による広い定出力範囲と高効率運転で、実使用領域において電動車両等の電費向上に効果を発揮します。また、脱リア・アースを実現するとともに巻線の最適化を行い、従来のネオジウム磁石を用いたモータと遜色ないサイズ・効率を実現\*します。標準タイプと様々なご要望にお応えするセミカスタムタイプを準備し、今後も電気自動車をはじめとした多様な用途にお応えしてまいります。

主な用途

- 電気自動車・ハイブリッド等の電動自動車駆動用
- 小型建設機械の駆動・旋廻用
- 農業機械の駆動用
- 小型船舶の推進用

\*：サンプル適用は平成24年11月を予定しています。



## ■ 新商品のご紹介・トピックス

### 新たなラインアップで幅広いニーズにお応えします

塗装用途最適化ロボット

## MOTOMAN-EPX2050, 2750

塗装用ロボット MOTOMAN-EPXシリーズに EPX2050, EPX2750 をラインアップいたしました。

ロボットアーム上に塗料切り替え機器を搭載できるため、塗装ガンまでのチューブの長さが短くなり、色替え時にチューブ内に残留する塗料や洗浄液を節約できます。また、塗料切り替え時間の短縮が図れ、生産性向上にも貢献します。

塗装機器制御機能をロボットコントローラに一体化することにより、ロボット動作に同期した精密・最適な制御が可能で、塗装時間の短縮や塗装品質の向上に貢献します。

主な用途

- 一般産業用製品の塗装用途全般



## 中国に産業用ロボットの生産拠点を新設

中国江蘇省常州市にロボット生産子会社を設立することにより生産能力を拡大し、今後ますます成長が見込まれるアジア市場への対応力を高めます。

なお、日本国内では現在の生産量を維持するとともに、マザー工場として生産技術の研究を継続します。また、製品・ロボット利用技術の研究や開発等の基本部分も引き続き日本国内で行ってまいります。

## ■ 新生産拠点の概要

会社名：安川(中国) 機器人有限公司

所在地：中華人民共和国江蘇省常州市武進区

資本金：2,250万米ドル(約18億円)

事業内容：産業用ロボット(制御装置を含む)の製造、販売及びアフターサービス

生産台数：6,000台/年(平成27年度)

量産開始時期：平成25年3月(予定)

## ロボット事業の抜本的生産革新と 新規市場の開拓について

当社のロボット事業は幅広い用途でグローバルに展開しており、今後も受注増加が見込まれます。また、食品製造業や医療（バイオメディカル）分野等へも積極的に新機種を投入するため、最新鋭のロボット工場及び信頼性センタを建設し、生産工程全般の最適化や品質向上を図ります。

これにより本事業所はロボットの用途に応じた主力3工場体制となり、今後の需要増や市場の変化に対応できる最適生産を進めます。さらに事業所全体を「ロボット村」と位置づけ、ロボットに関する技術や情報をご提供する等、より社外のみならず親しんでいただける事業所を目指します。

## 南アフリカ出資会社の子会社化について

今後ますます経済活動の拡大が見込まれる南部アフリカ地域での拡販・サービス活動を強化するため、南アフリカ共和国の出資会社 Robotic Systems SA (Pty) LTD. を欧州安川の連結子会社といたしました。出資比率を24%から75%に高め、社名をYASKAWA Southern Africa (Pty) Ltd. に変更しております。

南部アフリカ地域全体をターゲットに、ロボットの拡販はもとより、近代化する産業に欠かせないインバータ・サーボ・コントローラといった当社の強みである製品全体の供給強化を図ってまいります。

### 各工場の概要

- 第1工場（現モートマンセンタ）  
一般産業向け小形ロボットの生産
- 第2工場 **新設**  
クリーン環境での生産  
[半導体・FPDパネル市場向け、食品製造業、医療（バイオメディカル）向け等]
- 第3工場（現モートマンステーション）  
一般産業向け中・大形ロボットの生産
- ロボット信頼性センタ **拡張**

### 月産生産能力

3,000台/月（平成27年度）

全体の再編は平成26年中までに建設完了し、正式オープンは平成27年を予定。  
ロボット新工場（第2工場）は平成25年夏に稼働予定。

### YASKAWA Southern Africa (Pty) Ltd.の概要

- 会社名：YASKAWA Southern Africa (Pty) Ltd.  
所在地：4 Friesland Drive, Longmedow Business Estate-South Modderfontein 1610, Johannesburg South Africa  
資本金：11万ユーロ（約1,210万円）  
事業内容：南部アフリカ地域での安川製品の販売・サービス

## ■ 情報セグメント関連のご紹介

### 安川情報システム株式会社

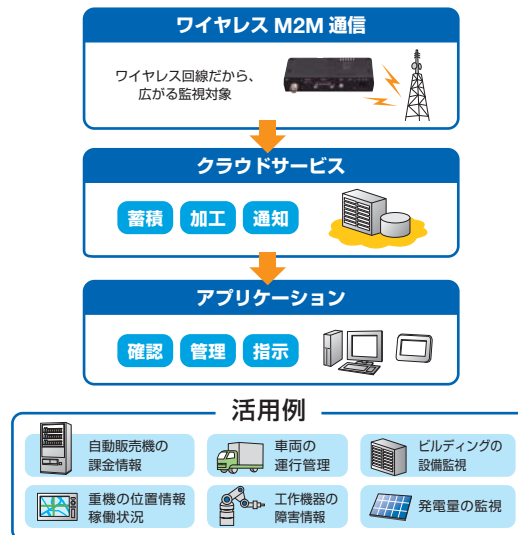
国内でも海外でも、シームレスな遠隔監視をワンストップで提供する

## グローバルM2Mサービス

### 「モノモバイルソリューション」提供開始

海外で主流となっているGSM回線に対応したグローバル通信アダプタ「MMLink-G」の発売を機に、国内外の通信回線、クラウドサービス、お客様の業務アプリケーションまでワンストップで提供するグローバルM2Mサービス「モノモバイルソリューション」の提供を開始しました。「モノモバイルソリューション」では、通信にモバイル回線を利用しているため配線が不要で、設置場所に柔軟に対応できることに加え、独立した閉域ネットワークにより安全性を確保できます。更に、海外展開で今までネックとなっていた通信料の高い衛星回線を用いないため、運用費用を抑えることも可能です。

適切な状況・状態の把握により故障を防ぎ、また故障復旧時間を最短にすることで、機器の稼働率向上につなげたいお客様に最適なソリューションです。



### 株式会社 ワイ・イー・データ

## ゼネラルパッカー（株）と資本業務提携

当社は、平成24年1月に包装システムのトータルプランナー企業であるゼネラルパッカー（株）（昭和36年創業、ジャスダック・名証2部上場）と資本業務提携を行いました。

自動包装機械の専門メーカーとして同社が強みを発揮する食品医薬品等関連機械の技術・製造等のノウハウや包装システム事業分野のノウハウ、そのネットワークを活用することで、当社グループとしては今後食品医薬品等のマーケットへの本格的な進出を図ってまいります。特に、当社グループの子会社（株）ワイディー・メカトロソリューションズでは包装システム事業分野におけるシステムインテグレータを目指し、ロボットケーサー（箱詰機）などロボット応用システムへの取り組みを強化・拡大してまいります。



ロボットケーサー

## ■ 小倉事業所 技術展示場をリニューアル

小倉事業所設立50周年、開発研究所の設立10周年を記念し、技術展示場「T-beat Square (ティービートスクエア)」をリニューアルいたしました。

“新しい技術 (Technology) が鼓動 (beat) を始める交流の場 (Square)” という意味が込められた展示場には「みらいの家」や「技術体感コーナー」など4つのゾーンがあり、お客様や地域のみなさまへ公開しています。

### ● 技術体感コーナー



#### エネルギー関連

EV (電気自動車) 用のモータとドライブシステムを紹介しています。



#### ロボット関連

人との協調・共存を目指したサービスロボットなど、賢いロボットの動きをご覧いただけるコーナーです。



#### 精密技術関連

当社サーボモータなどの精密さを実感いただけるコーナーです。

### ● みらいの家 (ミニ実証システム)



様々なエネルギー機器や家電製品をコントロールする情報通信技術とロボットが連携するデモンストレーションです。

### ● 技術活動紹介



特許活動状況や技術論文誌、日本電機工業会 (JEMA) の人材育成活動などについて紹介しています。

### ● 小倉事業所の歴史



小倉事業所50年の歴史を、年表と代表的なモータ製品とともに紹介しています。

## ■ 連結財務諸表（要約）

連結貸借対照表（平成24年3月20日現在）

（単位：百万円）

資産の部		負債の部	
流動資産	199,572	流動負債	117,111
現金及び預金	20,343	支払手形及び買掛金	53,073
受取手形及び売掛金	91,411	短期借入金	34,042
たな卸資産	63,800	未払費用	17,632
繰延税金資産	6,223	未払法人税等	370
その他流動資産	19,234	役員賞与引当金	57
貸倒引当金	△1,440	その他流動負債	11,934
固定資産	79,499	固定負債	57,453
有形固定資産	37,484	新株予約権付社債	15,000
建物及び構築物	15,398	長期借入金	9,029
機械装置及び運搬具	8,183	退職給付引当金	30,535
土地	8,312	役員退職慰労引当金	299
その他有形固定資産	5,589	その他固定負債	2,589
無形固定資産	6,734	負債合計	174,564
ソフトウェア	4,502	純資産の部	
その他無形固定資産	2,232	株主資本	104,669
投資その他の資産	35,280	資本金	23,062
投資有価証券	18,595	資本剰余金	18,684
長期貸付金	168	利益剰余金	63,363
繰延税金資産	12,383	自己株式	△440
その他投資	4,511	その他の包括利益累計額	△4,559
貸倒引当金	△377	その他有価証券評価差額金	2,547
		為替換算調整勘定	△7,107
		少数株主持分	4,398
		純資産合計	104,507
資産合計	279,072	負債・純資産合計	279,072

（注）記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

連結損益計算書

（単位：百万円）

自平成23年3月21日 至平成24年3月20日	
売上高	307,111
売上原価	227,540
売上総利益	79,571
販売費及び一般管理費	64,752
営業利益	14,818
営業外収益	1,764
受取利息及び配当金	391
持分法による投資利益	760
雑収入	612
営業外費用	957
支払利息	727
雑支出	230
経常利益	15,626
特別利益	1,248
固定資産売却益	24
投資有価証券売却益	8
貸倒引当金戻入益	65
負ののれん発生益	1,091
その他特別利益	58
特別損失	1,521
固定資産除売却損	112
投資有価証券評価損	170
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	332
段階取得に係る差損	146
その他特別損失	759
税金等調整前当期純利益	15,353
法人税、住民税及び事業税	4,076
法人税等調整額	2,684
少数株主損益調整前当期純利益	8,592
少数株主利益	160
当期純利益	8,432

（注）記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。



## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

自平成23年3月21日 至平成24年3月20日	
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,391
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,874
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,592
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 39
現金及び現金同等物の増減額	8,068
現金及び現金同等物の期首残高	11,885
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	251
現金及び現金同等物の期末残高	20,206

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

## 当期末の資産、負債及び純資産の状況

当期末における資産合計は、2,790億72百万円(前期末比144億77百万円増)となりました。これは、現金及び預金並びにたな卸資産等の増加等により、流動資産が前期末比114億23百万円増加したこと、及び固定資産が前期末比30億53百万円増加したことによるものです。

負債合計は、1,745億64百万円(同79億99百万円増)となりました。これは、支払手形及び買掛金等の減少等により、流動負債が前期末比96億46百万円減少したこと、

及び新株予約権付社債の発行等により、固定負債が前期末比176億46百万円増加したことによるものです。

純資産合計は、1,045億7百万円(同64億78百万円増)となりました。これは、主に利益剰余金の増加等により、株主資本が前期末比60億68百万円増加したことによるものです。

## 当期のキャッシュ・フローの状況

当期末における現金及び現金同等物の残高は、202億6百万円(前期末比83億20百万円増)となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、63億91百万円の収入となりました。主な内訳は、税金等調整前当期純利益153億53百万円、減価償却費76億6百万円、売上債権の減少18億58百万円、たな卸資産の増加26億32百万円、仕入債務の減少102億89百万円、及び法人税等の支払額55億66百万円等です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、118億74百万円の支出となりました。主な内訳は、有形及び無形固定資産の取得による支出98億63百万円等です。

この結果、営業活動と投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、54億83百万円の支出となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローは、135億92百万円の収入となりました。主な内訳は、短期借入金の減少9億36百万円、長期借入れによる収入54億24百万円、長期借入金の返済による支出35億36百万円、社債の発行による収入150億円、及び配当金の支払額22億67百万円等です。

## 個別財務諸表(要約)

貸借対照表(平成24年3月20日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
<b>流動資産</b>	<b>105,386</b>	<b>流動負債</b>	<b>61,907</b>
現金及び預金	12,033	支払手形	3,698
受取手形	3,423	買掛金	31,042
売掛金	47,371	短期借入金	8,838
製品	10,963	リース債務	27
半製品	772	未払金	1,271
原材料	5,692	未払費用	9,498
仕掛品	3,704	前受金	439
前渡金	36	預り金	7,060
繰延税金資産	3,672	その他流動負債	31
未収金	935	<b>固定負債</b>	<b>45,902</b>
未収法人税等	333	新株予約権付社債	15,000
短期貸付金	3,393	長期借入金	7,566
その他流動資産	14,597	リース債務	508
貸倒引当金	△1,545	退職給付引当金	22,139
<b>固定資産</b>	<b>72,158</b>	資産除去債務	440
有形固定資産	20,831	その他固定負債	247
建物	9,097	<b>負債合計</b>	<b>107,810</b>
構築物	487	<b>純資産の部</b>	
機械装置	4,474	<b>株主資本</b>	<b>67,201</b>
車輜運搬具	10	資本金	23,062
工具	528	資本剰余金	18,493
器具及び備品	313	資本準備金	18,491
土地	4,756	その他資本剰余金	2
リース資産	510	利益剰余金	25,951
建設仮勘定	651	その他利益剰余金	25,951
無形固定資産	5,967	繰越利益剰余金	25,951
施設利用権	1	自己株式	△305
ソフトウェア	4,183	<b>評価・換算差額等</b>	<b>2,533</b>
その他無形固定資産	1,782	その他有価証券評価差額金	2,533
投資その他の資産	45,359		
投資有価証券	10,949		
関係会社株式	16,801		
出資	1		
関係会社出資金	6,092		
長期貸付金	309		
繰延税金資産	10,002		
その他投資	1,478		
貸倒引当金	△276	<b>純資産合計</b>	<b>69,734</b>
<b>資産合計</b>	<b>177,545</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>177,545</b>

(注)記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

損益計算書

(単位:百万円)

自平成23年3月21日 至平成24年3月20日	
売上高	170,848
売上原価	139,976
売上総利益	30,872
販売費及び一般管理費	30,579
営業利益	292
営業外収益	4,891
受取利息及び配当金	4,815
雑収入	75
営業外費用	489
支払利息	189
債権売却損	118
為替差損	85
雑支出	96
経常利益	4,693
特別利益	84
固定資産売却益	16
貸倒引当金戻入益	67
特別損失	1,096
固定資産除売却損	53
投資有価証券評価損	213
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	332
その他特別損失	497
税引前当期純利益	3,681
法人税、住民税及び事業税	234
法人税等調整額	1,475
当期純利益	1,971

(注)記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

第96期(自平成23年3月21日 至平成24年3月20日) 配当について		
中間配当	1株につき	5円
期末配当	1株につき	5円
年間	1株につき	10円



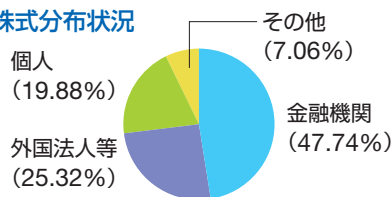
## 株式の状況 (平成24年3月20日現在)

発行可能株式総数…………… 560,000 千株  
 発行済株式の総数…………… 252,331 千株  
 資本金…………… 230億62百万円  
 株主数…………… 22,153 名

大株主(上位10名)	持株数	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	16,281 千株	6.46%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	16,069 千株	6.38%
株式会社みずほコーポレート銀行	8,100 千株	3.22%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (中央三井信託銀行退職給付信託口)	7,970 千株	3.16%
明治安田生命保険相互会社	7,774 千株	3.09%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (住友信託銀行再信託分・株式会社福岡銀行退職給付信託口)	6,375 千株	2.53%
サ ジ ヤ ツ ブ	6,240 千株	2.48%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	5,220 千株	2.07%
日本生命保険相互会社	4,247 千株	1.69%
野村信託銀行株式会社(投信口)	4,181 千株	1.66%

(注) 持株比率は、自己株式を控除して算定しております。

### 所有者別株式分布状況



### 当社株価の推移



(注) 東京証券取引所における月別の高値、安値を表示しています。

当社株式は日経平均株価算定用銘柄に採用されています。

## 役員 (平成24年6月19日現在)

### 取締役

代表取締役会長 利 島 康 司  
 代表取締役社長 津 田 純 嗣  
 代表取締役 専務執行役員 鬼 頭 正 雄  
 取締役 常務執行役員 沢 俊 裕  
 取締役 常務執行役員 宇佐見 昇  
 取締役 執行役員 村 上 周 二  
 社外取締役 秋 田 芳 樹

### 監査役

監査役(常勤) 市 川 学  
 監査役(常勤) 下 園 直 登  
 社外監査役 石 丸 誠  
 社外監査役 辰 巳 和 正

### 執行役員

常務執行役員 中 村 公 規  
 常務執行役員 小笠原 浩  
 執行役員 後 藤 英 樹  
 執行役員 本 松 修  
 執行役員 南 善 勝  
 執行役員 柳 瀬 重 人  
 執行役員 中 山 裕 二  
 執行役員 高 宮 浩 一  
 執行役員 野 田 幸 之 輔  
 執行役員 善 家 充 彦  
 執行役員 小 川 昌 寛

# ■ 会社の概要 (平成24年3月20日現在)

商 号 株式会社 安川電機

英文社名 YASKAWA Electric Corporation

設 立 大正4年7月16日

従 業 員 8,246名(連結) 2,781名(個別)

事 業 所 本 社	〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石2番1号	電話 (093) 645-8801
東 京 支 社	〒105-6891 東京都港区海岸一丁目16番1号 ニューピア竹芝サウスタワー	電話 (03) 5402-4502
名 古 屋 支 店	〒450-0002 名古屋市中村区名駅三丁目25番9号 堀内ビル	電話 (052) 581-2761
大 阪 支 店	〒530-0003 大阪市北区堂島二丁目4番27号 新藤田ビル	電話 (06) 6346-4500
九 州 支 店	〒810-0001 福岡市中央区天神四丁目1番1号 第7明星ビル	電話 (092) 714-5331
工 場 等	八幡西事業所・八幡東事業所・行橋事業所・入間事業所・小倉事業所	

## 主要関連会社

### JAPAN

- 株式会社 ワイ・イー・データ  
情報関連製品・サービス  
(オプトメカトロニクス・情報セキュリティ・情報マルチメディア)
- 安川情報システム株式会社  
情報の処理提供サービス・ソフトウェア開発並びにシステム機器販売
- 安川コントロール株式会社  
電気機械器具及びその部品の製造・販売
- 安川エンジニアリング株式会社  
電気機械設備の保全・整備・試運転調整及び技術指導
- 株式会社 安川ロジステック  
総合物流事業
- 安川モートル株式会社  
電動機・発電機及び電動機応用製品の設計・製造・販売・保全・整備  
及び調整
- 株式会社安川メカトロック  
電気機械器具、その他各種機械器具の販売

### EUROPE

- YASKAWA EUROPE GmbH (ドイツ)  
インバータ・サーボ・コントローラの製造・販売・サービス  
ロボットの販売・サービス
- YASKAWA NORDIC AB (スウェーデン)  
ロボットの販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC UK LTD. (イギリス)  
インバータの製造・販売・サービス
- YASKAWA EUROPE TECHNOLOGY LTD. (イスラエル)  
サーボ・コントローラの開発・製造・販売・サービス、ロボットの販売・サービス

### ASIA

- YASKAWA ELECTRIC(CHINA) CO., LTD. (中国)  
インバータ・サーボ・コントローラの販売・サービス
- SHANGHAI YASKAWA DRIVE CO., LTD. (中国)  
インバータ・サーボ・コントローラの製造・販売
- YASKAWA SHOUGANG ROBOT CO., LTD. (中国)  
ロボットの販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC (SHENYANG) CO., LTD. (中国)  
サーボ・コントローラの製造・販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC (SINGAPORE) PTE. LTD. (シンガポール)  
インバータ・サーボ・コントローラ・ロボットの販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC KOREA CORPORATION (韓国)  
インバータ・サーボ・コントローラ・ロボットの販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC TAIWAN CORPORATION (台湾)  
インバータ・サーボ・コントローラの販売・サービス、ロボットのサービス
- YASKAWA ELECTRIC INDIA PVT. LTD (インド)  
インバータの製造・販売
- YASKAWA ROBOTICS INDIA LTD. (インド)  
ロボットの販売・サービス

### AMERICA

- YASKAWA AMERICA, INC. (アメリカ)  
インバータ・サーボ・コントローラの製造・販売・サービス  
ロボットの販売・サービス
- YASKAWA MOTOMAN CANADA, LTD. (カナダ)  
インバータ・サーボ・コントローラのサービス、ロボットの販売・サービス
- YASKAWA ELÉTRICO DO BRASIL LTDA. (ブラジル)  
インバータ・サーボ・コントローラの販売・サービス

## ■ 株主メモ

事業年度	毎年3月21日から 翌年3月20日まで	公告方法	電子公告により行い、インターネット上の当社の ウェブサイト ( <a href="http://www.yaskawa.co.jp/ir/">http://www.yaskawa.co.jp/ir/</a> ) に掲載いたします。 ただし、やむを得ない事由により電子公告による 公告をすることができない場合は、日本経済新聞 に掲載して行います。
定時株主総会	6月	上場金融商品取引所	東京・福岡
( 配当金受領 )	毎年3月20日 (期末配当金)	株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
( 株主確定日 )	毎年9月20日 (中間配当金)		

**お知らせ** 郵便物送付先・電話お問い合わせ先等に関しましては、下記のとおりとなります。

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先 電話お問い合わせ先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店	お取引の証券会社になります。	みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほインバスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
ご注意	支払明細発行については、右記の「特別口座の場合」 の電話お問い合わせ先までご連絡ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の 株券がある場合は至急ご連絡ください。
	未払配当金の支払については、「特別口座の場合」のお取り扱い店、並びに株式会社みずほ銀行の本店及び 全国各支店にてお取扱いいたします。	

### 上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の規定により、株主様あてに「支払配当金額」や「源泉徴収税額」等を記載した「支払通知書」を通知すること  
なっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした「配当金計算書」を同封しておりますので、平成25年の確定  
申告の添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算はお取引の証券会社等にて行われますので、  
平成25年の確定申告の添付資料としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

### ホームページのご案内

当社ホームページ(アドレス <http://www.yaskawa.co.jp/>)にて、決算情報やニュースリリースを随時ご提供いたしております。



株式会社 安川電機